

伊藤会長 お疲れさまでした



退任のあいさつ

栃木県看護連盟前会長
伊藤正子



2009年（平成21年）渡辺暎子会長（現顧問）より会長ポストを引継がせていただきました。当時の栃木県看護連盟は、渡辺会長の優れたリーダーシップと会員の皆様方の熱心なご努力で、順調に強力な組織へと発展しつつあり、会員数も伸びている時期でした。

私はお陰様で大変恵まれたスタートを切ることが出来、感謝の気持ちでいっぱいでした。この間2度の選挙を経験し、高階・石田両議員が誕生致しました。選挙は夢中になればなる程、周りの方々が助けて下さることを実感致し、嬉しかったです。施設訪問では大勢の皆様から歓迎していただき、多くのご意見を頂戴致しました。また、看護の素晴らしい力を沢山みせていただきました。

最後に体調を崩して皆様にご迷惑をお掛け致しましたことをお許しいただき、退任のお礼のごあいさつとさせていただきます。

栃木県看護連盟の益々のご発展と皆様のご健勝をお祈り申し上げます。沢山のことを学ばせていただき、本当に有難うございました。

新設支部紹介



済生会宇都宮支部
渡辺先子

今年度から済生会宇都宮支部を立ち上げました。支部長の重責が担えるか不安になりますが、臨床現場にいるからこそできることを考えていこうと思います。役員会や研修会の「熱い思い」を伝え、国政や地方議会に代表を送る意味を当事者として考えられる動機づけができたらいなと思っています。会員皆様のお力添えを宜しくお願ひいたします。

新支部長紹介



佐野支部
高橋香代子

今まで佐野支部の施設連絡員として協力をしてまいりましたが、今年4月より佐野支部長という大役を仰せつかりました。

看護連盟=政治活動という意識から、なかなか新人・中堅看護師への理解を得ることは難しいという現実があります。「継続は力なり」をモットーに一人でも多くの方に看護職の代表を政界へ送ることへの必要性や看護連盟への理解を伝えていきたいと思います。

佐野支部は5施設あります。小林支部長が財産だといっていた「つぶやき連携」を大切に引き継ぎ、各施設連絡員の皆様の温かいご支援のもと、支部長としての役割を努めていきたいと思います。どうぞ宜しくお願ひ致します。